

第106号
ほほえみ
04 06 13

ある人が「約束はパワーの源です」と言っていた。誰かと食事に行く約束をする。すると何を食べようか、どこに行こうか一生懸命に考えて探す。それが楽しくてわくわくしてくるといふ。そういえば私も娘が入院した時はいろんな約束をさせられた。「明日は面会に一番に来てね」(当時面会時間は午後3時から5時だった)「おもちゃを持ってきて」きっとそれが娘のパワーになっていたのだろう。今、街中で車の上から「約束」を叫んでいる人たちがいる。言ったことは守ってほしいなと思う。期待は薄いけど……。

<第108回 ほほえみの会>

6人の参加でした。

▽ 5歳の女の子。急性リンパ性白血病で隔週の外来治療中に再発。骨髄移植を考える。2歳の弟とHLAが合わない。骨髄バンクに問い合わせたところ1人と合致することが判明し、これからドナーに連絡をすることになる。その他、臍帯血移植や海外ドナーなど情報がほしい。体験者に話を聞きたい。また、病棟に保母さんが来てくれて良かった。非常にいい方で、院内学級に行けない小さい子は遊んでもらい助かっている。今後幼稚園とのかかわりもどうしていったらいいか悩む。病室内での遊びや笑いで本人の免疫力を高め病氣と戦ってほしい。

▽ 小学5年生男の子。悪性リンパ腫。入院4ヶ月で退院の目途。本人は元気で前向き、バンダナを工夫して学校に行きたいと意欲的。退院後、医師は生活面でも何の心配も要らないというが親は心配。県立がんセンターに細かいデータの出る機会があるというのでそちらで診てもらおう。病氣は大変だけど病棟生活など子供にとってプラスになることも多い。

▽ 今年の総会は7月11日(日)に開催します。ぜひご参加下さい。また、役員を引き受けてくださる方がいましたら池田までご連絡下さい。

ほほえみの会 総会

日時：2004年7月11日(日) 11時～13時

場所：新館3階 教室

内容：2003年度活動報告・会計報告

2004年度役員選出

血液腫瘍科の医師のお話

「臨床試験ってなに？」 高島能文先生

「最近話題の最新治療」 西尾信彦先生

◎ 特別講演 「治療的 遊び」

講師 静岡県立がんセンター

チャイルドライフスペシャリスト

青木 睦恵さん

子供たちの病棟生活をストレスの少ないものにしてその子らしい育ち方を支援をするチャイルドライフスペシャリスト。子供たちの精神的ケアをして前向きに治療をする気持ちを持たせるために「遊び」の役割は大きい。どんな遊びを喜び、親はどう接すればいいのか。具体的な事例をアメリカの病院との違いも交えお話いただきます。



◎質疑応答

お子様はボランティアの方が面倒を見てくれます。軽食も用意してあります。お気軽にご参加ください。

次回 総会は 7月 11日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>